

KiKiの広場

2014年 12月 1日

cafe NO.50
KiKi



あっという間に時が過ぎ、気がつくとな師走。「えっ？」って感じの今日この頃ですが、みなさんにとって12月はどんな月でしょうか？ 子どもの頃は12月というだけで、ウキウキワクワク心が弾む毎日でしたが、今はただ訳もなく焦るばかりで……。いやいや、訳はいっぱいありました。(^^;)

さあ、1年の締めくくりです。今年もよく笑った、いい年だったと言えるよう、もうひと踏ん張りしたいと思います。今年も大変お世話になりました。来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

Merry Christmas

12月の予定

9日(火)	休館日
毎日曜日	定休日
27日(土) ～5日(月)	年末年始 休み



「今月のケーキ」・・・「ガトーショコラ」350円

シンプルな中にも深い味わいがある定番の人気者です。ベルギー産のチョコレートを使用し、甘味を抑えた濃厚な口当たりで手作り感あふれる逸品です。温かいケーキとしてもお召し上がりいただけます。



今月のお気に入り&本欄・・・「クリスマスってなあに？」

～「クリスマスってなあに」「クリスマスのおくりもの」「こねこのみつけたクリスマス」「くろうまフランキー」などなど～

「クリスマスってなあに」は、ミッフィーでおなじみのディック・ブルーナが、2000年前の出来事をわかりやすく優しく描いてくれています。プレゼントがもらえてケーキが食べられるワクワクのクリスマスもいいですが、時には静かな夜に、子どもたちとクリスマスの由来について、諸説いろいろありますが1つのお話として、話してみるのもいいかなと思います。

ジョン・バーニングムの「クリスマスのおくりもの」は、イブの夜1つ配り忘れたプレゼントに気づいたサンタさんが、くたびれはてたトナカイをかわいそうに思い、たった1人で遠くはなれたその子の住む山まで、いろいろな人の力を借りながら届けに行きます。その子の名前は「ハービー・スラムヘンバーガー」住んでいる山は「ロリー・ポリー山」。バーニングムならではのネーミングで、サンタさんやみんなの優しい思いと共に、繰り返してでくるその名前がリズムカルで楽しく温もりのあるお話になっています。



アン・モーティマーの絵が美しい「こねこのみつけたクリスマス」は、マーガレット・ワイズ・ブラウン作訳は中川千尋さんです。文章も美しく、こねこの五感を通してクリスマスの情景が描写されています。色とりどりの色彩もきれいですが、青と白と黒3色で描かれた雪の中のこねこの絵もすばらしいです。



今年1年を振り返ってみると・・・

まず新しい年と共に、勝手ながらお休みが増えました。昨年までは休館日の第2火曜日のみでしたが、日曜日も定休日とさせていただきます。同時にオープン以来お客さまから何か軽食を、と切望されていた新メニューが登場しました。KiKi専用サイズになった PAYSAN のピザです。特にベーコン&トマトが人気で、阿知須の本店まで食べに行かれないからと、わざわざピザを食べに来てくださる方もいらっしゃるようになりました。

そして春、受付の若者スタッフが旅立ちと共に入れ替わりました。新メンバーは、受付業務だけでなくカフェのケータリング等の手伝いを通して、今や独り立ちできるくらいの腕前に(?!)(^^)!



夏にはオープン当初からお世話になっているロイヤルさんの夏季限定の「夏アップルパイ」が、シャーベットのような新触感で好評でした。秋にはキーコーヒーさんから砂糖不使用の「彩り野菜のカップケーキ」も新登場!

この4年間同じように過ごしてきたようですが、考えると毎年その年ならではの出来事がありました。そしてKさんのおかげで、常に生きたお花があるという変わらないことのすごさ。継続することの大切さと、何気ないことに気づき感謝できること、この想いを忘れずに来年もスタッフ一同、力を合わせて頑張りたいと思います。